

だいち

地域に生きる

編集者：蓮田太陽の里
「だいち」広報委員会
〒349-0101
埼玉県蓮田市黒浜1045-1
TEL 048-764-3881
FAX 048-764-7788
H P <http://minuma-hukushi.com/>



書：関口 忠司

巻頭コラム

白岡まつり

8月4日、白岡市役所駐車場にて毎年恒例の白岡まつりが開催されました。この日も、例年にならない「酷暑」となり、準備段階から汗びっしょり。炎天の下でも、たくさんのお客さんが来場され、開始早々から盛り上がりを見せていました。

大地では玉こんにやくと飲み物、授産製品を販売、組合と後援会では焼き鳥、焼きそば、唐揚げの販売で、夕方近くになるとテントの前には行列ができ、「いらっしやいませ！」の声とともに、みぬま福祉会のブースは活気に溢れていました。

まつりの最後を彩る花火を眺めながら、今日の完売をみんな喜びました。

金子 知幸（職員）

夏プロ外出 羽生イオン

夏プロ企画で白幡さんと小澤さん、松本さん、大浦の4人で羽生のイオンにでかけました。小澤さんは前々から楽しみにしていたようで車中では饒舌で上機嫌です。当日は大変暑く羽生のイオンについてから、早めの昼食を取りました。白幡さんはマシマロチョコレートピザをおいしそうに完食。小澤さんはハンバーグカレーを凄い勢いで食べて満足気でした。食後はショッピングを楽しみました。白幡さんのシャツをみんなで購入、お洒落なシャツを買ったことができました。

大浦 健一（職員）



夏プロ外出 鉄道博物館

8月17日に夏プロの企画で鉄道博物館へ行きました。参加者は篠原さん、福沢さん、根本さんの3名の仲間と松崎、高篠の職員2名でした。鉄道博物館では主にSの实物大の模型や、実際に走っていた列車の車両を身近に見たり触ったりすることができました。

身近な物では京浜東北線の車両も展示されていました。福沢さんは



鉄道の模型をじっくり見つめ職員が

カメラを向けるとピースサインし写真を撮り嬉しそうにしています

た。篠原さんは、列車の模型を笑顔で見つめながら順路を先へ先へと進みたそうに急かしていました。昼食は根本さん、篠原さんは駅弁を買いました。根本さんは鳥めし、

篠原さんは新幹線の形をした容器のお弁当を食べました。篠原さんは新幹線の容器が入ったようので自室で保管しています。福沢さんは大地の厨房さんが用意したお弁当を食べました。昼食を食べた



スペースから走っていく新幹線が見え根本さんは終始笑顔でした。

午後はお土産を買いました。福沢さんは色々悩みながら列車の口ゴが入った缶バッチ、篠原さんはクッキー、根本さんは家族と食べる用のお菓子を購入しました。

皆さん普段見ることのない電車を前に大喜びでした。少ない外出の機会なので良い思い出となっていると良いなと思います。

高篠 圭太（職員）



夏プロの企画

宝さがし

宝さがしは2チームの対抗戦。「隠すチーム」と「探すチーム」に別れます。まずは「隠すチーム」が宝物を5分間の制限時間の中で、決まられた範囲の中に隠します。「ドコが分からなかな？」と仲間同士で相談しながら隠します。「探すチーム」は必死に、本気で探します。次は、「隠す」「探す」チームを交代しておこないました。「まさかこんなところに!」と思うところに隠す仲間と、それを見つげ喜び仲間たち。楽しい時間の最後はお楽しみ「宝物」を開封。中には「扇子」「風鈴」「入浴剤」など、夏を楽しく乗り切るためにグッズが入っていました。

松崎 空木（職員）

スイカ割り

スイカ2個十村上さんのお家からの差し入れのすいかの計3個のスイカを割るという事で仲間のみんなとても気合が入っていました。スイカを割る順番を待っている時も「がんばれー!」「そこそこー!」と大きな応援が飛び交っていました。大きなスイカが割れると皆も「おおー」と歓声が上がりました。割ったスイカはその場で食べました。しらゆりの家からも仲間が参加して下さり、とても楽しく盛り上げたスイカ割りになりました。

高橋 茂奈美（職員）



肝試し

今回の肝試しは1人1枚の台紙に、それぞれがチェックポイントでハンコを押すスタンプラリー形式でした。急遽仕入れた沢山の生首たちと、沢山のお寺や幽霊、妖怪の絵で事務所と職員室を装飾しました。音響も準備し、照明も落とし、パソコンの画面にはホラー映画の画像が…。そんな肝試しの会場へみんなが順番に、懐中電灯をもって暗闇の中へ進んでいきました。飛び入りで参加した黒澤さんのお孫さんも「楽しかった」と言ってくれたし、中には、「2回目、行ってもいい?」と言う仲間もいる程の大盛況。みんなが楽しんでくれて良かったです。

松崎 空木（職員）

花火

8月18日夕食後に大地内で花火を行いました。場所は正面の入り口で花火をする仲間と交流スペースから花火を鑑賞する仲間の2グループに分かれ行いました。

色が変わりながら光っていく瞬間の様子を眺めたり、宙に文字や絵を描く仲間もいたり様々な楽しみ方をしていました。普段夜の時間帯は食事が終わると自室にいる仲間が多い中で、夜の時間を楽しめるイベントの機会も良いと思いました。

高篠 圭太（職員）



日帰り温泉 飯能

7月24日に日帰り温泉旅行に行ってきました。

目的地は飯能の奥武蔵休暇村。緑が多くキレイな川も流れているようなどころにあり、今年4月にリニューアルされたばかりで、建物も綺麗でした。



旅行に参加した仲間は諸岡さん、篠原さん、白幡さん、笹田さんの4名と諸岡さん母、白幡さん母。

職員は堀江さん、高崎さん、植村さん、藤井の計10名での旅行となりました。

温泉と言えば冬。もしくは涼しくなってから楽しむ方が多いイメージ。しかし、まさかの真夏の7月実施。正直、なぜこんなに暑い真夏に温泉なんだと思いました。仲間の様子は前日から日帰り旅行をすごく楽しみにしていた様子で、当日は篠原さんは刺身などを食べる度に笑顔。諸岡さんは「天ぷら



が一番おいしかった。」と天ぷらが気に入った様子。白幡さんは刺身や鮎の塩焼きなど好きなものは大きな口を開けて食べていました。笹田さんは黙々と結構な量でした。が完食していました。



温泉は、みんな笑顔で気持ち良さそうに入浴していました。ただ、暑かったので入浴後はなかなか汗がひかずしばらく涼んでいました。その後はコーヒーやジュースなど

も楽しんでいました。

帰りには、それぞれ好きな物をお土産にしたり両親にお土産を買いたいと漬物を購入する仲間もいて家族思いな一面も見れました。車からの景色など色々な刺激があり、温泉も風食もなかなか大地では味わえない経験を仲間間の皆も1年ぶりの旅行を満喫したようでした。

藤井 寛(職員)



情勢を共有しよう

障害者雇用水増し問題を徹底検証し、真の障害者雇用の前進を

きょうざれん常任理事会

8月17日以来、中央官庁での障害者雇用水増し問題が連日報道されているが、障害のない職員を障害があるとみなす、あるいは新たな障害のある人は任用しないといった実態が次々明らかになり、当会としては憤りを禁じえない。①失墜した行政への信頼 「あきれ物が言えない」「こんな差別的な出来事に直面するとは思わなかった」当会会員からもこうした声があがっており、行政の信頼は完全に失墜した。障害者雇用の水増しは27の省庁で行われ、しかも1976年に身体障害者の雇用が民間企業に義務付けられたことを受け障害者の雇用状況が公表され42年間続くという国の行政機関の実雇用率は公表されていた2.49%ではなく、その半分以下の1.19%だった。1977年当時の民間企業の雇用率が1.09%だから、歴史は振り出しに戻ったことになり、

民間企業の障害者雇用にも冷水を浴びせかねない。また結果の発表まで2カ月を要したにもかかわらず2016年以前の任免状況については公表されず、全貌は見えない。水増しの実態を過去に遡って明らかにするべきである。②

「制度の理解が不十分であり、意図的なものではない」は通用しない 本件のポイントは、障害者雇用義務制度の対象範囲が法令で定められているにもかかわらず、行政機関が対象外の人をカウントしていたことにある。そのため障害者雇用促進法第38条に基づく障害のある職員の数が雇用率を満たさない場合に作成すべき採用計画や、同法第40条に基づく任免の状況に関する厚生労働大臣への通報は、事実と異なるものだった。長年にわたるこうした行為は、法令に従う義務を規定した国家公務員法第98条や、信用失墜行為の禁止を規定した同法第99条とも相容れない。各官庁等では「制度の理解が不十分であり、意図的なものではない」としているが、重要なのは意図的であったかどうかを超えて、これによって

障害のある人が深刻な事態に直面したという結果である。このような言い逃れで、障害のある人と国民が納得するはずがない。③本件は行政による人権侵害である 本件によって働く機会を奪われた障害のある人たちは、収入面でも大きな不利益を被ったわけだが、何より社会参加の選択肢を行政により制限され、重大な人権侵害を受けたことになる。これだけの数の行政機関が長年にわたり同様の水増しをした背景には、「障害のある人は手がかかる」「障害のある人を任用すると人手もお金も余計にかかる」といった偏見や無理解があるのではないだろうか。障害者雇用の先頭に立つべき行政機関の中にある、こうした根深く古い意識が社会的障壁となって、障害のある人に合理的配慮や必要な支援を講じることを妨げ、障害者権利条約や関連法令を形骸化させている。④徹底検証と真の障害者雇用の前進を 政府は障害のある人たちの無念や怒りに真摯に耳を傾け、徹底検証の出発点として欲しい。この検証に当たっては、行政機

関を監視する観点から国会の役割にも期待したい。そして障害のある人の参画のもとで、本件のような取り扱いが長年にわたり繰り返されてきた原因やその手法、歴代担当者による引継ぎの在り方等について明らかにする必要がある。障害のある人も共に生きる社会をつくるために、政府は障害者権利条約を批准したはずであり、これは私たちも共有する目標だ。その達成に向かうために、政府はもちろん国会も含めて本件と真剣に向き合い、公務部門で働く障害のある人を量的に拡大するとともに、その働く条件と環境の整備に、必要な予算の確保も含めて不転換の覚悟で取り組まなければならない。





まりこの 素敵な日常

ぼんおどりにいってきま
した。やきそばはありま
せんでした。
よかったです。

まりこ



みんなまで
やいまいまじゅん

2018年8月25日(土)

ゆいゆいゆいゆいゆい

体入るきびすか

しんじゆんじゆん

ゆいゆい

8月26日 (にち)

24じかんでれびをみました。

「いしのもりしょうたろうものがたり」というど
らまをみました。

かんどうしました。ないようもかんたんでした。

りえ



みんなの
おすすめ

ボランティア 募集

ウエス・古本・バザー品の

『大地』では、地域の皆さまに以下のご協力をお願いしています。

①ボランティア募集

館内の清掃や洗濯物の整理、ちょっとした身の周りのお手伝いや、外出の付き添いなどのボランティアさんを募集しています。

②ウエスの材料、バザー品（古本、雑貨）

仲間達が仕事で使う、ウエス製品の材料→綿100%の衣類、タオル、シーツ。また、バザーなどで販売するための古本（文庫本、マンガ）、雑貨（家庭で不要になったまだ綺麗で使える物）を募集しています。是非ご協力お願いします。

①ボランティア担当（面来、松崎）

②ウエス、古本担当（野村、北隅）

ありがとう
ございました！



高橋 孝雄
岩上 めぐみ

様 様

（順不同）

30年8月度に寄付して下さった方

ありがとうございました

大地9月の予定

9/1	(土)	家族会
9/4	(火)	障埼連県交渉
9/12	(水)	生活保護違憲訴訟裁判
9/13、 14	(木)、 (金)	一泊旅行・那須
9/19	(水)	きょうされん県懇談会
9/12、 22	(金) (土)	きょうされん全国大会・京都
9/30	(日)	大地まつり

四方山話

今月の担当… 池沢 宏美（職員）

今年の二月、静岡へ旅行に行った時、友人が「富士さんって一度は登ってみたいけど」とボソッと一言が始まりで、七月に人生初の富士登山をしました。二十代の頃、自分を見つめるために富士山に登りたいと思っていた私に、富士山に登るより自分探しをするのならひとりの旅が良い。と進められ、それ以来、四国一周車旅や、東日本大震災で気持ちが暗くなっていた時、復興を遂げた淡路や神戸、広大な原野が広がる北海道など気ままな一人旅にハマってしまいました。そんなことを思い出しながら、やっぱり、一度は登ってみたいな。と思いついて挑戦することにしました。全くの登山初心者なので、新宿からバスで行く初心者コースのツアーに申し込み、靴からリュックまで全てレンタル屋さんでお借りして登山に出発しました。登山中は、「大きく深呼吸してください」「ペースを遅くして小幅度で登ります」「はい。ここで水分を摂ってください」となどインストラクターの方の丁寧な声掛けのおかげで、軽い高山病になりながらも無事に登頂でき、美しい朝光を拝むことが出来ました。

下山した後、友人が「なんか想像していた以上の感動がなかったね」と一言……至れり尽くせりも良いけれど、やっぱり、何事にも、自分で選び取って進んでいく道の方が楽しいな。と思いました。今度は、自分で登山グッズを揃え、登山コースを計画し、自分のペースで登りたいと思います。

課業より

こんにちは！8月9日に大地では夏の打ち上げがありました。打ち上げでは毎年、ポーナ支給があり、課業の一大イベントとなっています。今年は夏のポーナ五千元が支給されました！みんな「ポーナ何に使う？」と話しました。「靴を買いたい」「家族のために使いたい」「貯金する」等々、みんなそれぞれ伝え合い、ポーナを受け取るまでわくわくし、受け取ってからも、またわくわくして、皆素敵な笑顔でした。

これから秋はイベントの季節！大地まつりにいきいきフェスティバル：日々の仕事はもちろん、外での販売にも気合いを入れて、冬のポーナも、またわくわく期待を持てるよう頑張りたいですよ！

島田 明音（職員）



<広報だいち> 広報委員会（職員） 面来・安藤・岡部・小原・高篠
（仲間） 田村・神永・土屋莉恵・関口・近野・戸谷